

## 戦略評価シート

かつの 商工会

令和3年度(5年目)

※戦略評価判定基準:戦略を構成する施策の評価結果に基づき、(A)(順調)、(B)(概ね順調)、(C)(一部未達成)の3段階で評価する。

戦略1 育て・挑戦を支える商工会		総合評価	(A)
施策1	事業承継の推進		(A)
施策2	伴走型支援事業の推進		(A)
施策3	情報提供など広報活動の強化		(A)
評価結果	評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
	計画どおりの取り組みで目標達成した。5年間の取り組みで経営力向上及び事業承継に取り組む事業所が増加した。	単発の支援となる場合が多く、中長期にわたる伴走支援を推進できる体制の強化を図ることが必要である。	第2期プラン並びに経営発達支援計画において伴走型支援の強化、事業承継の再調査などを実施し、より一層の支援を行う。
戦略2 プロ集団の商工会		総合評価	(A)
施策4	職員の資質向上と意識改革のための取組推進		(A)
評価結果	評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
	計画通りの取り組みで目標達成した。5年間の取組では支援内容の充実、支援体制の整備が図られ、職員の意識改革が図られた。	更なる職員のスキルアップ、意識改革を図ると共に全てにおいてチーム支援を行うことが必要である。	第2期プラン並びに経営発達支援計画においてOJTなど取り組み、意識改革、資質向上、スキルアップを図る。
戦略3 事業者が主役の商工会		総合評価	(B)
施策5	委員会、部会、青年部・女性部活動の強化		(B)
施策6	青年部・青年部OBなど若手経営者の育成強化、登用		(B)
評価結果	評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
	最終年度はコロナ禍による活動の制限により目標の達成ができなかったが、5年間の取組の結果、若手経営者や女性の登用によって委員会、部会の活動は活発化した。	会員全体にアクションプログラムの趣旨を周知し、意識改革を図る取組が必要である。	第2期プラン並びに経営発達支援計画において、事業者の声が商工会運営のみならず行政の施策等にも反映できるよう、体制整備を進める。
戦略4 機動的・効率的な商工会		総合評価	(B)
施策7	職場改善に関する取組推進		(A)
施策8	事業評価の検証に基づく地域振興事業のあり方検討		(B)
施策9	組織体制の見直しと運営計画の策定		(B)
評価結果	評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
	定量的な具体的な行動指標の設定に課題があったが、定性的な目標は概ね達成することができた。	目標並びに具体的な行動指標の設定について検討が必要である。	第2期プランにおいて生産性、費用対効果を意識した取り組みを進める。
戦略5 環境変化に強い商工会		総合評価	(B)
施策10	財政運営計画の策定		(B)
評価結果	評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
	自己財源のための収入源を確保し、併せて将来に備えた運営安定引当、施設維持管理引当など当面の運営に必要な資金を確保した。	自己財源の確保を図ると共に管理費など他団体への支出削減を進める必要がある。	第2期プランにおいて、業務の再構築と併せ手数料の見直し、経費の削減、将来に備えた引当金の積み増しを行う。